着こなしセミナー 開催!!

五月八日（火）に、株式会社トンボ本社企画部デザイナーの水島亜樹さんを講師にお迎えして、『制服着こなしセミナー』を実施しました。

青流

平成24年度
速報４号

大分県立山青学校
高等学校
ＰＴＡ
調査広報
委員会

今回のセミナーは、サブタイトルに「見た目と中身・制服の意味」と題して制服に対する意識向上を目的に開催しました。

講師の水島亜樹さんは、県下各高校の制服のデザインやカタログ作りなどに携わった経験から、外部の人たちとして見るのではなく、生徒として学校全体として見ることを通して、別府青山高校の生徒とほとんどの制服を着ることで、制服を着ることの意識や責任感、制服の持つ力について話をされました。

話はまず、第一印象の大切さについてでした。人は六秒で第一印象が決まり、目が九割を閉めるこれは同一人物でも見た目で印象が変わるこれは次に制服についてでした。

ネクタイ・リボンの結び方一つで信頼や権威付けにもなり、気持ちの切り替えにもなります。

制服は着こなし方一つで命令感にもなり、安心感にもなります。

《制服の力》
～信頼や権威付け・気持ちの切り替え・使命感～
三力を合わせるシンボル
（連帯感）

ナールがあることについて、社会にはフォーマルとカジュアルがあります。

制服は元来はフォーマルなものであり、私服のカジュアルとは異なるものでありますが、私服のカジュアルにも着こなしの幅が広くなってきました。

また、社会には制服のマナールがあります。

制服の着こなしルールに則って着ることが大切です。

美しく見えるもの、制服と制服風の私服では別物です。

制服とスラックスを変えて着くずしたスーツを着こなすことはお洒落なことではありません。

最後に、制服の手入れの仕方まで話し、制服に対するデザイナーとしての強い思いを感じられるセミナーでした。

平成24年度　生徒指導部　前期重点目標

1. マナーの向上
（職員室での言葉づかいや行動）

2. 服装の整備
（登校時指導、昇降口での指導）

3. 環境整備
（清掃活動の徹底）

登校指導・昇降口指導

生徒の登校時に正門前であいさつに加えて、今年度より生徒昇降口での各学年による、あいさつ服装指導を開始しました。

あいさつ・身だしなみはマナーの基本です。

大きく変化！全校集会

今年から、全校集会が様変わりしました

○毎月実施
基本的に毎月１回実施します

○校歌斉唱
学校創建以来歌い継いできた校歌を全員で大きな声で歌います

○分掌主任らによる講話
教頭、分掌主任や学年主任がローテーションで毎月講話を実施します

○服装頭髪検査の実施
全校集会の最後に、毎月服装頭髪検査を行います

部活動清掃　始まる

5月8日（火）の放課後、部活動生による奉仕清掃が行われました。これは、自分たちが利用している場所（学校）を清掃することで感謝の気持ちを持とうと、3年前から始められたもので、この日も各部活動に所属する1～3年生が集合し、それぞれの主将の指示のもと、清掃活動に励みました。この活動は今後も毎月１回実施していく予定です。

*青流速報版は本校HPでもご覧いただけます。